

バチルス・サブチリス由来のポリガラクトチュロナーゼ4A、組換え型

Cat. No. NATE-1507

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、ガラクトチュラン 1,4- α -ガラクトチュロニダーゼ (EC 3.2.1.67) は、次の化学反応を触媒する酵素です: $(1,4-\alpha-D\text{-ガラクトチュロニド})_n + H_2O \rightarrow (1,4-\alpha-D\text{-ガラクトチュロニド})_{n-1} + D\text{-ガラクトチュロネート}$ 。したがって、この酵素の二つの基質は (1,4- α -D-ガラクトチュロニド) $_n$ と H₂O であり、二つの生成物は (1,4- α -D-ガラクトチュロニド) $_{n-1}$ と D-ガラクトチュロネートです。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、特にO-およびS-グリコシル化合物を加水分解するグリコシダーゼに分類されます。

別名 ポリ(1,4- α -D-ガラクトン酸)ガラクトンヒドロラーゼ; エクソポリガラクトン酸エース; ポリ(ガラクトン酸)ヒドロラーゼ; エクソ-D-ガラクトン酸エース; エクソ-D-ガラクトン酸ナナーゼ; エクソポリ-D-ガラクトン酸エース; ガラクトン 1,4- α -ガラクトン酸ヒドロラーゼ; EC 3.2.1.67; ポリガラクトン酸エース

製品情報

種	バチルス・サブチリス
由来	大腸菌
形態	35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl ₂ 、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 3.2.1.67
CAS登録番号	9045-35-6
分子量	51.5 kDa
純度	>SDS-PAGEによる評価で90%
濃度	0.25 mg/mL
最適pH	7.2-7.8
最適温度	36.5 °C
特異性	ポリガラクトチュロナンとpNP α GalUA

保管・発送情報

保存方法 この酵素は常温で出荷されますが、-20 °Cで保存する必要があります。